



令和6年木津御神輿太鼓祭り開催報告

木津町地域

地域長 田中 芳久

令和6年度木津御神輿太鼓祭りが、10月26日、27日開催されました。

26日は、御霊神社に、敬神組、拝神團2基の御神輿が宮入りし、拝殿廻りを奉納されました。

27日は、田中神社に、西町の御神輿が、岡田国神社へは、義友会、社町2基の御神輿が宮入りし、拝殿廻りを奉納されました。

木津町区からは、西町、義友会（五丁目、三桝町）の2基が運行されました。

小寺町の御神輿は運行されませんでした。

木津御神輿太鼓祭は、木津川市の市指定文化財のひとつで、江戸時代から200年以上続く歴史ある、お祭りです。

かつては9基の御神輿が、並んで御霊神社・田中神社・岡田国神社を2日間

奉納し、二日目は、日暮れとともに、御神輿につるされた提灯に火を入れて明かりをつけ、各町内に戻るとというのが、木津御神輿の夜の景色でした。

現在運行されているのは、敬神組、拝神團、社町、西町、義友会、小寺の6基の御神輿だけとなっています。

高齢化に伴い、慢性的な担ぎ手不足、各町内での乗り子不足、行政の協力不足等、解決しなければならない多くの問題点があり、各太鼓台組合が運行について、毎年頭を悩ませているのが現状です。

大切な郷土文化財を守るため、木津川市、京都府の財政面での協力が必要ではないでしょうか。

木津町区地域住民の皆様のご協力により、この御神輿太鼓祭りが子供たちの思い出として、記憶に残るようにしてゆけば、以前のようにもっと華やかになることでしょう。

木津町区財産処理委員会における使用可能な使途の一つとして、地域文化等振興事業費があります。子供たちの御神輿新調等への使途について今後検討してゆきたいと思えます。

*西町、義友会の御神輿の写真を添付いたします。

令和6年11月1日

